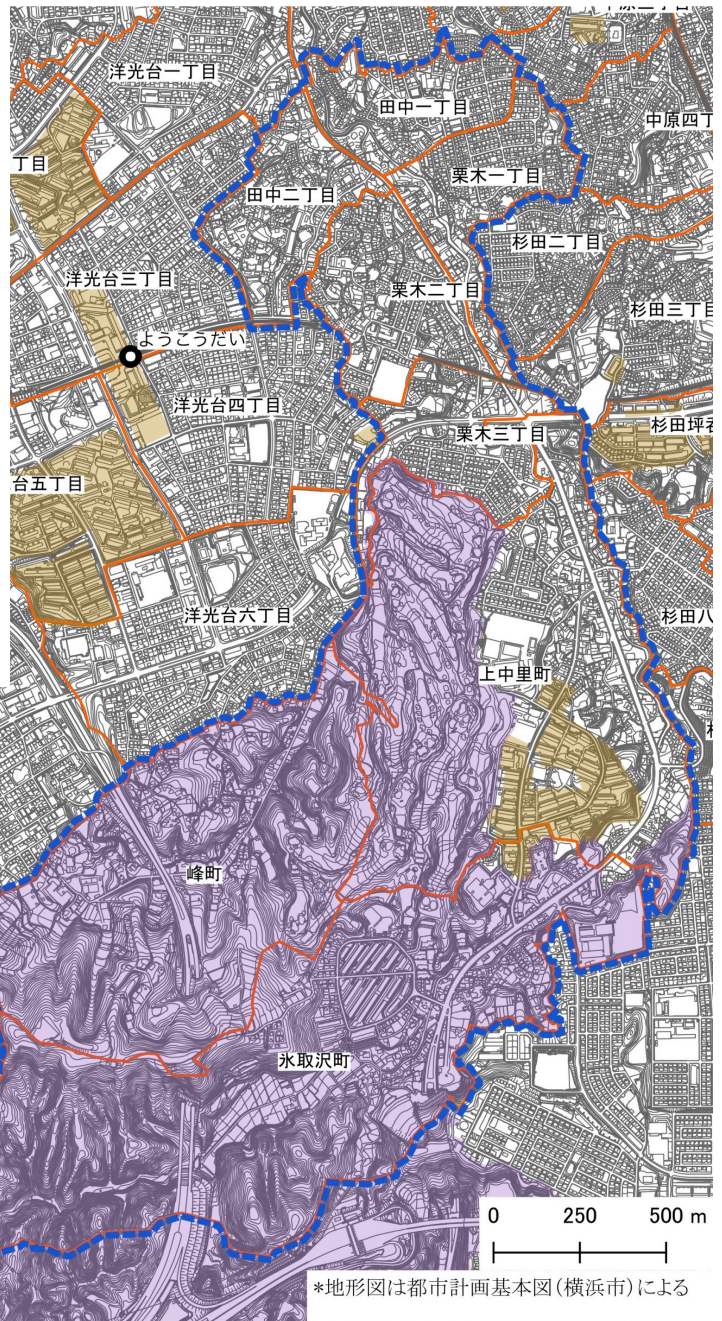


1. 地区の概況

- 1) 上笹下地区は、磯子区の南に位置し、金沢区、港南区、栄区と接しています。地区の範囲は広く、南北に長くなっています。地区を南北に県道笹下釜利谷線が通っています。
- 2) 地区の面積は約 375.7ha で、地区の中では最大です。地区の南西側は市街化調整区域(磯子カントリークラブゴルフ場、峯市民の森、氷取沢市民の森、氷取沢緑地等)になっています。
- 3) 人口は約 17,600 人で、安定した状態が続いていますが、弱い減少傾向が見られます。
- 4) 世帯数は約 7,800 世帯で、緩やかに増加中です。
- 5) 平均世帯規模は 2.26 人/世帯で急速に小さくなってきていますが、9地区の中では汐見台(2.33人/世帯)に次いで大きくなっています。



●人口・世帯数の概要

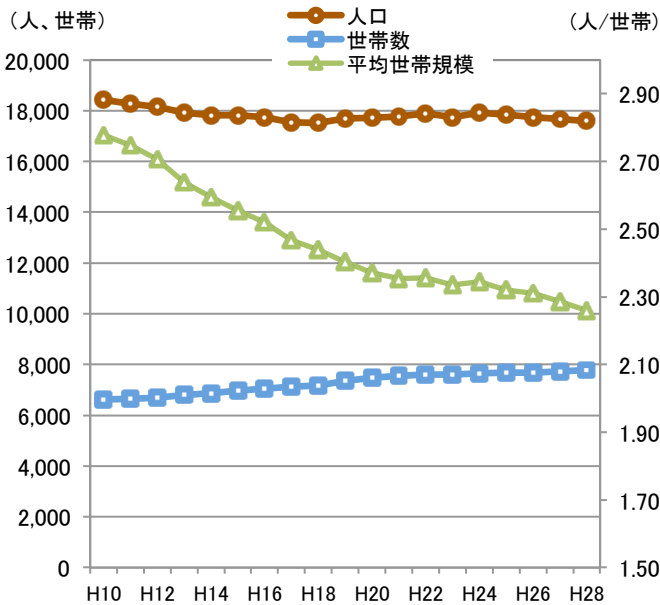
	平成18	平成23	平成28	平成18 ~23年	平成23~ 28年	平成23 年比率 (%)	平成28 年比率 (%)	平成28年 区平均比 率(%)	平成28年 市平均比 率(%)
人口 (人)	17,507	17,752	17,586	245	▲ 166	100.0	100.0	100.0	100.0
0~14歳人口 (人)	2,115	2,181	2,156	66	▲ 25	12.3	12.3	12.0	12.7
(内0~5歳) (人)	806	916	841	110	▲ 75	5.2	4.8	4.9	4.9
15~64歳人口 (人)	12,284	11,627	10,477	▲ 657	▲ 1,150	65.5	59.6	61.4	63.7
(内20~24歳) (人)	1,097	855	800	▲ 242	▲ 55	4.8	4.5	4.8	5.1
(内25~39歳) (人)	3,864	3,648	2,911	▲ 216	▲ 737	20.5	16.6	17.9	18.5
65歳以上人口 (人)	3,108	3,944	4,953	836	1,009	22.2	28.2	26.6	23.6
(内65~74) (人)	1,888	2,305	2,807	417	502	13.0	16.0	13.8	12.4
(内75歳以上) (人)	1,220	1,639	2,146	419	507	9.2	12.2	12.8	11.2
世帯数 (世帯)	7,178	7,605	7,781	427	176				
平均世帯規模 (人/世帯)	2.44	2.33	2.26					2.10	2.13

\*「町丁別世帯と男女別人口」「町丁別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在

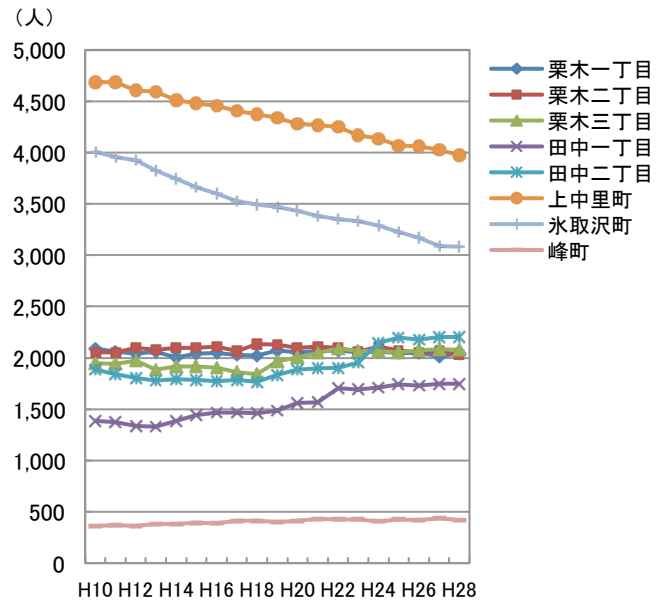
- 6) 区の平均に近い年齢構成になっています。
- 7) 年齢5歳階級別人口の推移率をみると、平成18～23年の期間には子育て世代とその子どもの緩やかな転入増加傾向がありましたが、平成23～28年の期間にはその傾向が弱まっています。
- 8) 田中一、二丁目、栗木一～三丁目、上中里町では、県道笹下釜利谷線に沿って住宅地が開発され、沿道にはマンションや店舗、沿道サービス施設等が立地しています。上中里町の沿道までが住居地域、南側の沿道は市街化調整区域です。
- 9) 上中里町の団地は、昭和40年代後半に、土地区画整理事業を併用して、神奈川県住宅供給公社の上中里第1団地（873戸。分譲3LDK、4LDK。4～5階建て共同住宅）を中心に開発されたものです。

- 10) 氷取沢町の磯子台パークハイツは、昭和50年代後半に民間が開発した共同住宅地区（区域面積15.2ha）です。

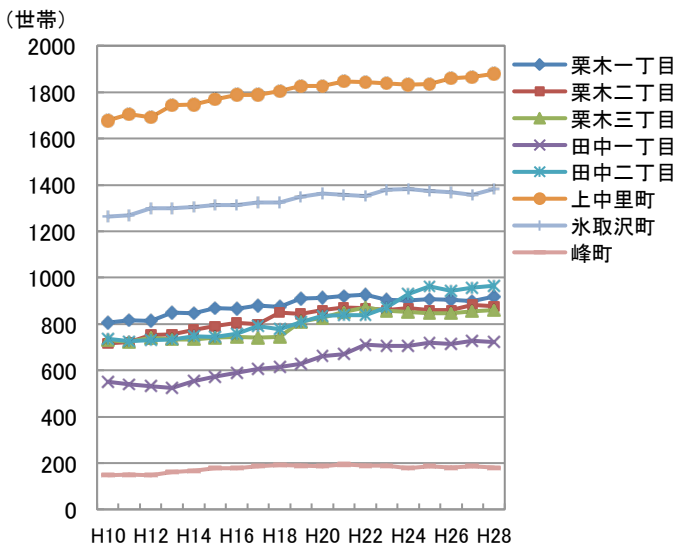
●地区の人口、世帯数の動向



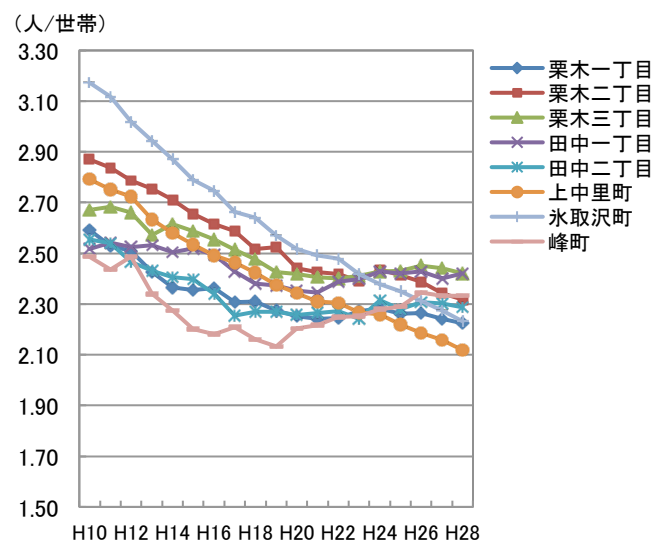
●町別・人口の動向



●町別・世帯数の動向



●町別・世帯規模の動向



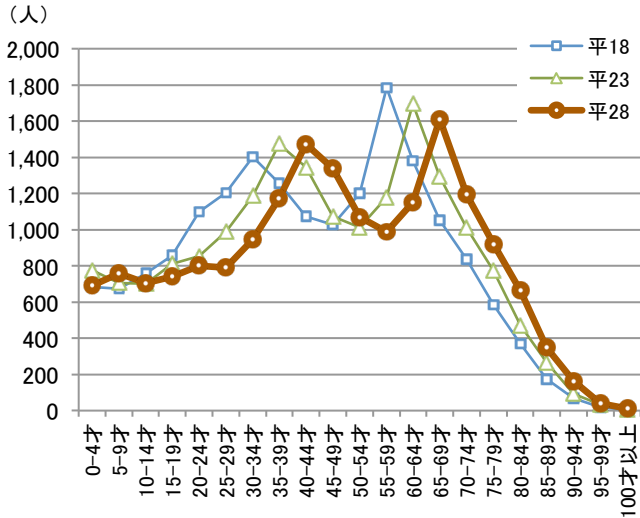


\*都市計画基礎調査結果 平成25年(横浜市建築局)を活用した



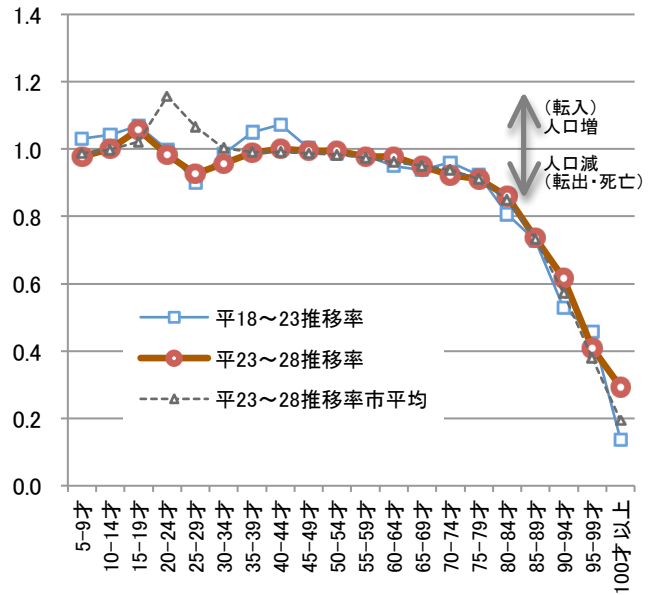
\*都市計画基礎調査結果 平成25年(横浜市建築局)を活用した

●年齢5歳階級別人口の変化



\*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

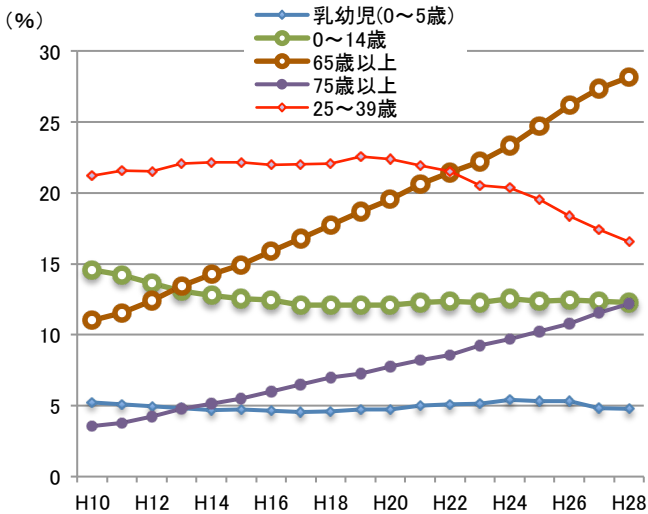
●年齢5歳階級別人口の推移率



\*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

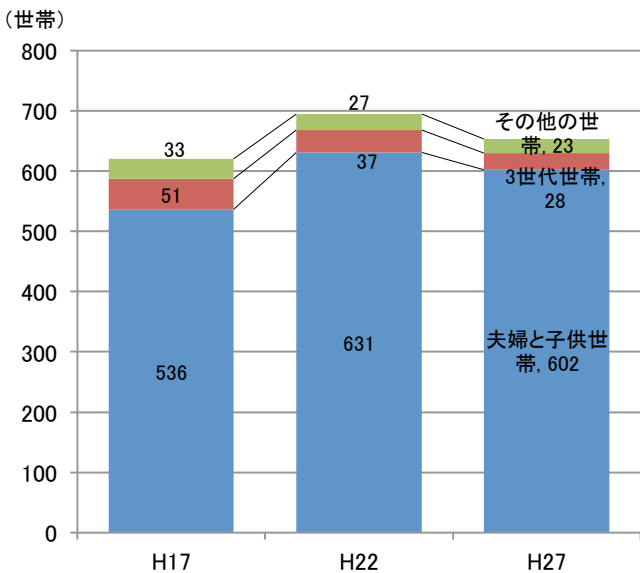
\*推移率：この場合は、年齢の5歳別人口が、死亡、転出入によって5年後にどう変化するかをみる指数。現在の5歳階級別の人口÷5年前の5歳若い5歳階級の人口

●乳幼児・高齢者比率等の動向



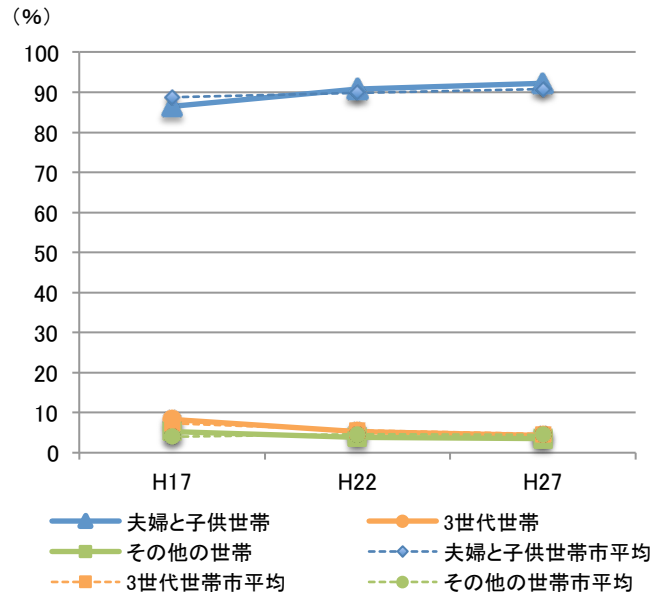
\*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

●6歳未満の子どもがいる世帯の動向



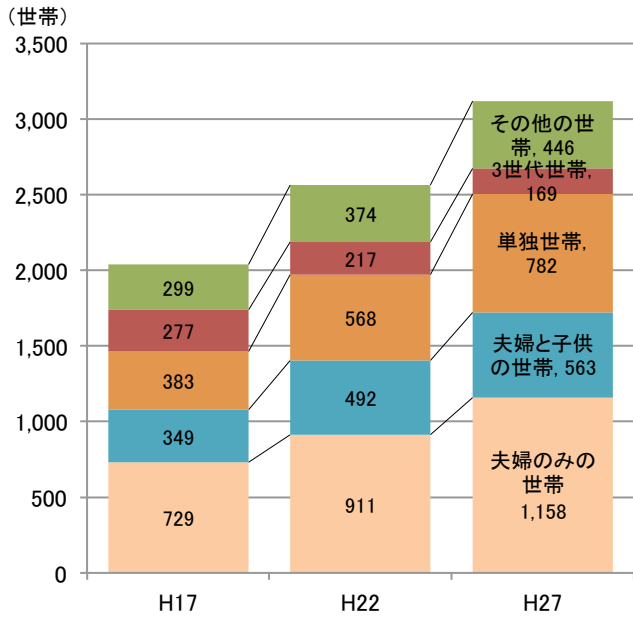
\*各年「国勢調査」による

●6歳未満の子どもがいる世帯の比率

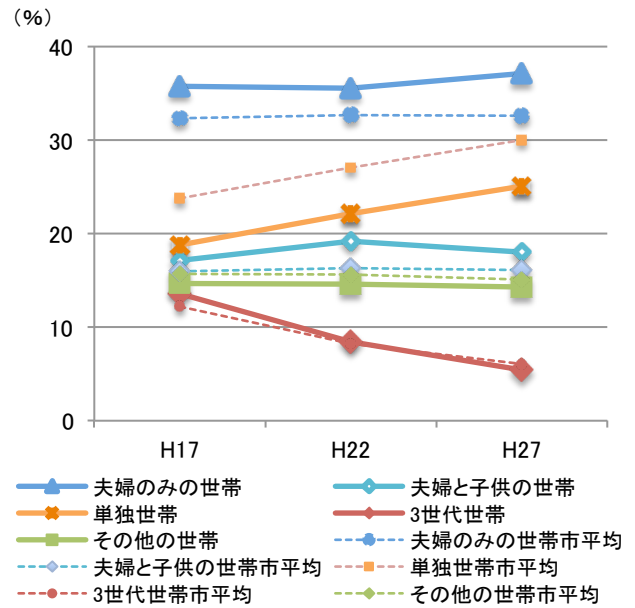


\*各年「国勢調査」による

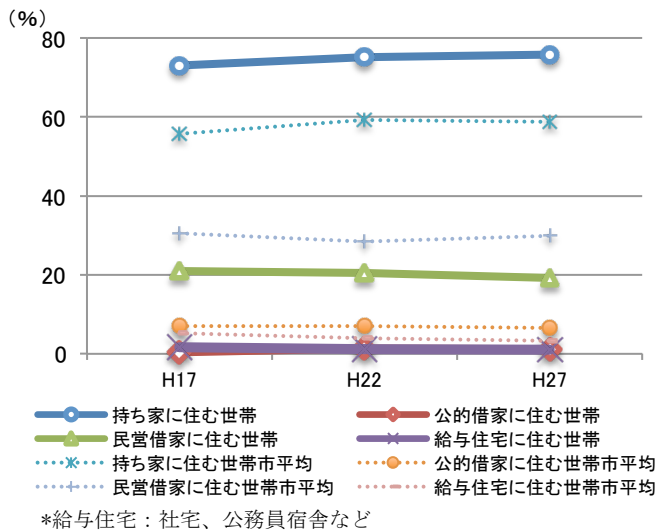
●高齢者 65 歳以上がいる世帯の動向



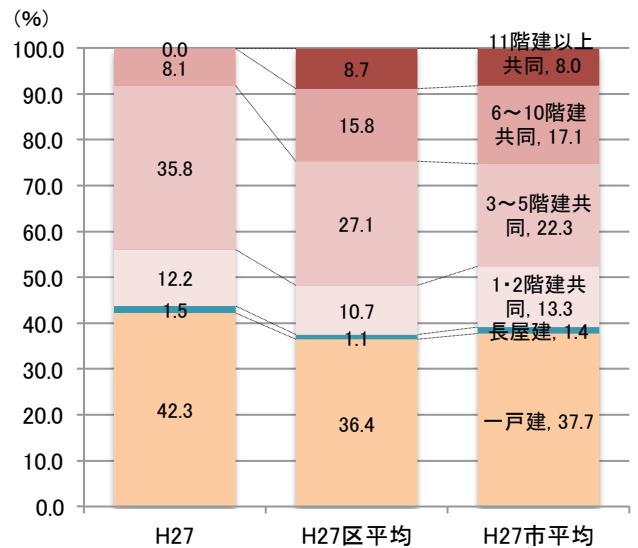
●高齢者 65 歳以上がいる世帯の比率



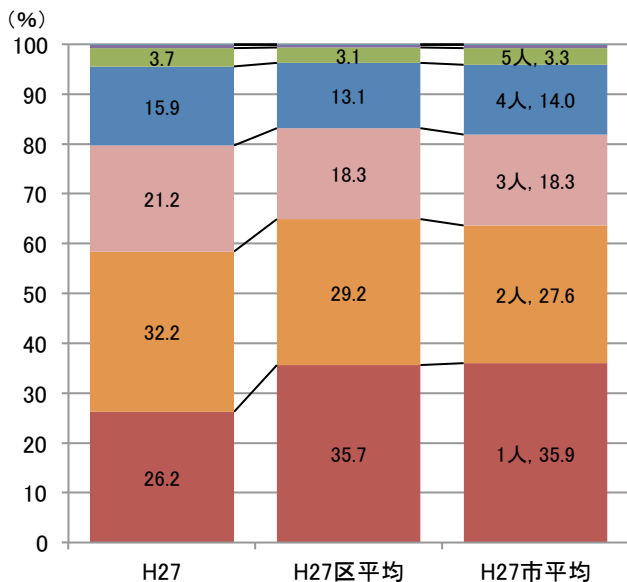
●住宅の所有関係別世帯の比率



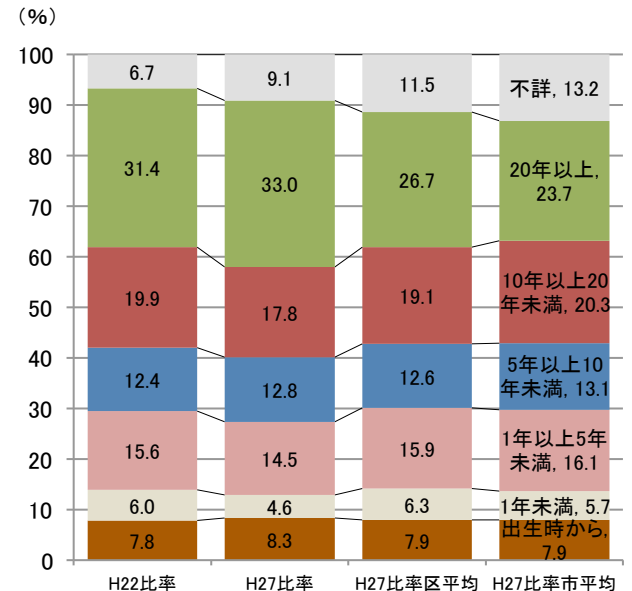
●住宅の建て方別世帯の比率



●規模別世帯の構成



●居住歴別人口の比率



## 2. 地区の居住者特性

### 2.1 地区の人口は、近年ほぼ横ばい、世帯数は緩やかに増加する傾向にある

- 1) 世帯分離や規模の小さい世帯の増加によって、世帯規模の縮小が続いてきましたが、近年、規模縮小が止まる傾向が見られるようになってきています。
- 2) 人口が減少する傾向を示しているのは、氷取沢町と上中里町で、いずれも、磯子台パークハイツ、上中里第一団地の共同住宅の居住世帯が多くを占めている地区です。共同住宅で、世帯分離による人口減少や高齢化が進行しています。
- 3) 田中一、二丁目、栗木一～三丁目、上中里町の戸建て住宅地では世帯分離や高齢化が進んでいると考えられますが、交通利便性の高い沿道部分を中心に、マンション、アパート等が立地し、区域としては人口と世帯数ともに安定しています。

### 2.2 地区の高齢化率は、区の平均に比べ高く、高齢の夫婦だけで暮らす世帯の比率が高くなっている

- 1) 地区の高齢化率は 28.2%で、区の平均 (26.6%) に比べて高くなっていますが、栗木一丁目 (28.4% : 古い開発住宅地) で高くなっている他、峰町 (31.0%)、上中里町 (34.5%)、氷取沢町 (35.5%) など市街化調整区域内の町で 30% を超え高くなっています。
- 2) 国勢調査の結果によれば、上笹下地区の世帯の中で高齢の夫婦のみで暮らす世帯の比率は 16.2% で区の平均(12.8%)を上回っています。地区内では栗木一丁目 (17.0%)、栗木三丁目 (16.5%)、上中里町 (18.7%)、氷取沢町 (21.5%) で高くなっています。
- 3) 世帯の総数に対する高齢の一人暮らし世帯の比率は 11.0%で、区の平均 (13.2%) を下回っています。

### 2.3 今後、高齢者、75 歳以上の高齢者が増加する

- 1) 年齢 5 歳階級別人口の変化を見ると、現在は 65～69 歳が最も多くなっており、今後、65 歳以上になる人口が少なくなることがわかります。現在の傾向が続くものとするれば、高齢者 (65 歳以上) の増加傾向は弱まると考えられます。しかし、75 歳以上の高齢者は今後 10 年間程度は増加が続き、現在の 2 倍程度に増加すると考えられます。